

## 平成26年度川中地区まちづくり集会開催記録（概要）

◎日 時 平成26年8月31日（日）10:00～12:00

◎場 所 川中公民館 視聴覚室

◎出席団体数 17団体

川中地区まちづくり協議会、綾羅木地区自治連合会、川中小学校PTA、熊野小学校PTA、川中西小学校PTA、川中中学校PTA、垢田中学校PTA、川中連合婦人会、綾羅木地区連合婦人会、JA下関女性部川中支部、川中商工振興会、下関市老人クラブ連合会、川中地区民生児童委員会協議会、川中地区保健推進委員会、垢田自治連合会、川中西小学校区スポーツ推進協議会、川中れんげ畑

◎市出席者 市長 中尾友昭

総合政策部部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫

総合政策部地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也

川中支所長：中野志彦

◎傍聴者 6名

◎次第

1 開 会	10:00
2 市長講話（私が考えるあらたなまちづくり）	10:00～
3 あらたなまちづくりに関する意見交換	10:15～
4 下関市住民自治によるまちづくり推進計画（素案） 及び全体スケジュールの説明	10:30～
5 推進計画（素案）及びスケジュールに関する意見交換	11:10～
6 閉 会	12:00

◎まちづくり集会開催の目的

住民自治によるまちづくりを推進するため、その基本となるまちづくり推進計画の策定等に関し、広く地域住民の意見を聴取する場として、それぞれの地域において「まちづくり集会」を開催します。併せて、それぞれの地域における住民等のまちづくり活動に対する機運の醸成を図ることを目的としています。

◎まちづくり集会開催

開式のことば  
出席者紹介



◎市長講話

私が考えるあらたなまちづくり  
～別紙：市長講話の概要参照～

◎あらたなまちづくりに関する意見交換  
意見なし

◎下関市住民自治によるまちづくり推進計画（素案）及び全体スケジュールの説明  
～別添：説明概要及び説明資料参照～

◎推進計画（素案）及びスケジュールに関する意見交換

参加者 川中地区には、まちづくり協議会があり、20年以上経ったが、綾羅木川河川敷草刈りやコスモス苗植えと活動が偏っている。川中地区では、各自治会で多くの行事を行っている。

子ども会、老人会、婦人会、自治会等で組織があり、コミュニティ活動も行っている。また、5自治連合会が全部入っているため改めて組織づくりをするのではなく、今ある組織の内容を精査する形が良いと思う。

川中地区は行事が多く、今以上の活動を行うには人材が不足している。若い人は仕事もあり昼間の活動できないので、夜間にPTAの意見を聞くようになる。子ども会やPTAのお世話もしてきたが、現役の市職員の地域活動への参加がない。平日ではなく土日の活動をお願いするものであり、また、犬の散歩時でも知らん顔をされる。地域も頑張っているため、市職員も参加して盛り上げてもらいたい。

市担当 川中地区の協議会の存在は認識しており、他地区でも何カ所がある。

それを母体として、参加者を増やし見直しをしていただきたい。

職員が地域活動に参加しないことについてはどこでも言われる。強制はできないが、職員研修会でも話している。今後、登録制度等をつくり、気軽に参加できるような環境整備を図りたい。

参加者 川中の既存の協議会は、昔は金融機関の職員が作業に参加していたが、職員数が減ってきたため、現在は、協賛金をもらっている。色々な企業も加わっていたが、減少した。市の市民活動補助金を受けているが、年々条件が厳しくなり、また、補助金額も減っている。以前は川中地区全体で海岸一斉清掃を行っていたが、徐々に組織が縮小し、それぞれで実施するようになった。

新たなまちづくりで、また、復活すれば良いと考える。

高齢化が進んでおり、地域の世話人も年寄りばかりで難しいが、議員もおられる

- ので、意見も聞きながら進めたい。
- 市担当 既存の組織はあるが、活動が限定的かつ縮小傾向にあると理解している。既存の組織を母体として進めていくのが好ましいが、市内で一番人口の多い区割になる川中でさえ、将来的に人材も減ってくると考えるので、それぞれの団体が補完し合う関係を作っただき、現在、縮小傾向にある協議会を、再度活性化させていただきたい。
- 参加者 まちづくり協議会の範囲はどのように考えているのか。川中地区5連合を統合したものなのか、単一の垢田、綾羅木自治連合会なのか。
- 市担当 基本は中学校区だが、川中と垢田の2中学校区を1つとして提案している。
- 参加者 川中は5連合だが、吉見や安岡などは単一連合であるが、その大きさは関係ないのか。
- 市担当 自治連合会を基本としながら、中学校区で1つという方針で進めているが、川中地区は人口も多いので、2中学校区の状態になっているが、現在のまちづくり協議会が1つのまとまりとして活動してきた昔からの経緯があり、1つでいかがでしょうかという提案をしている。  
なお、運営費等については、均等割、人口割、面積を加味するなどの支援を考えていく必要がある。
- 参加者 川中中と垢田中、2つあるケースは珍しい。綾羅木、垢田は3連合で川中中になっているが、川中が2つに分かれるということか。
- 市担当 中学校区は1つの目安の範囲。ほかにも、歴史的なつながりの中で、改めて別々に活動するよりは、一緒に活動する方が良いのではないかと考え、複数の中学校、複数の自治連合会での提案をしている。広過ぎる等の理由も考えられるので、今日すぐに結論が出なくても良い。
- 参加者 文化祭を昔から長く実施しているため、5連合が1つで進むのは、良いと思う。文化祭等で、わざわざ実行委員会形式にしなくても、新たな組織がその役割を担えばシンプルと思う。それぞれが実施している祭りは、このまま継続すれば良いし、5連合が皆でやる時は、結束してやれば良いと思う。5つの連合会にコミュニティ推進協議会があり、専門部会もあるため、そのまま連合体として、新たなまちづくり協議会になって自然と思う。
- 市担当 名称は、何々まちづくり協議会として欲しい。
- 参加者 高齢者福祉の関係も入ってくるが、社協とのタイアップについても指導してもらえるのか。
- 市担当 社協も地区社協も今まで通りの活動を継続するが、その分野だけで地域の課題解決や活動ができていけるのかもあるし、地域によって活動の濃淡もある。地区社協が、まちづくり協議会の一部会として参加すれば、協力関係を図ることができる。下関社協にも新たな組織の案内を行い、理解を求めていく。
- 市担当 社協の会長や事務局には話をしている。社協の全ての活動を理解していないため、市の関係課を通じて、補助金等を含め、整合性を図っていききたい。
- 参加者 現在、川中の活動が盛んになっている理由は、ある程度の人材が増えているこ

とにあるが、今後は、衰退傾向にある。私が、地域のお世話を始めたのは、時間のゆとりもあったが、今、加入している組織の会員が減少して維持できない状況にあったためである。しかし、今後は、皆に協力してもらわないといけないが、馬鹿になったふりをして高齢者が会長職に座り続けるのではなく、若い人にやってもらいたい。

- 市担当 新たなまちづくりの推進に激励をいただいたと認識した。  
川中は人口が増えているが、課題も増えている。高齢化が進んでくると、人材育成がとても大事になるので、協力して進めたい。
- 参加者 団体の会長を退けば、継続性が保てないので、長期的に活動をするのであれば、長く関わる人が加えてもらいたい。構成メンバーは、早急に確立してもらいたい。各自治連合会の意見が集まり交流できるようになれば、何ら難しいことではないが、人材確保などの問題を解消していけるような協議会になればと思う。
- 市担当 人材育成が一番難しいところではある。特に、PTAは引退しても続けてもらいたい。理想は、3～5年任期が理想であるが、自治会長は1年交替のところもある。一定期間続けないと継続性が保てない。大きな課題だと認識している。
- 市担当 川中については、川中と垢田を1つとして進めて良いか。
- 参加者 5連合の活動でコスモス植えがあるが、垢田からは何故、手伝いをする必要があるのかといった意見があり、5連合の仕組みなので協力して欲しいと説得し、人手が多く必要となる作業以外は、役員で行うことで決着が着いている。熊野も豊町もそういう傾向にはあると思うが、各自治連合会には色々な事情があり問題が絡んでくる。大きな組織に入っていくことが理想だが、とかく目先の利害の事しか考えないので、世話をする側としてはまとめるのが難しい。何か大きな組織全体で次から次にやれるものが生まれてくると一番良い。
- 市担当 大きいか小さいかは、やってみないと分からないが、条例や規則は、そう簡単には変えられない。しかし、スタート時は、地区で決めていただきたいと思うので、まちづくり集会で確認したい。
- 参加者 垢田で生まれ育った立場としては、川中から独立することは、とても淋しい。
- 参加者 分離して分かれようということではない。5連合でいくのか、それぞれでいくのかを確認したかった。
- 参加者 支所は1つなので、5連合が団結して進めるべき。
- 市担当 複数の自治連合会エリアで進めるという提案は他にもある。川中地区は、今までのつながりの中で、1つが良いのではないかと提案している。
- 参加者 1つで良いと思う。支所が、事務局をするのであるから良いです。
- 市担当 事務局は地元で作っていただくことになる。サポート職員は置くが、誰がなるのかは、これから検討していく。川中、垢田、ひとつで良いか。
- 参加者 川中、垢田で考えないでいただきたい。単一連合か5連合かということ。
- 参加者 5連合で良いのではないか。
- 市担当 5連合として進めさせていただきたい。